

ことばの教室だより

令和7年5月号

すがすがしい五月晴れの空に、新緑が映える季節となりました。

新年度がスタートして早くも一ヶ月が過ぎました。子どもたちは、やる気に満ちあふれて学校生活を送り、校内に元気な声が響き渡っています。しかし、大型連休もあり、スタートダッシュの疲れがでてくる時期でもあります。

一人一人と真剣に向き合いながら、温かな支援をしていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。



子どもの豊かな成長を願って...あいうえお

「あ」せらない

しつけに親のあせりは禁物です。時間をかけ、よく考えてすることが、物事を正確にこなす人格を育てるものです。小学校の低学年のうちだからこそ、自分で確かめつつ、やっていく生活が大切で、のんびり屋から育つこの芽を子どもに認めてやりましょう。子どものリズムを大切に...

「い」うよりもきく

一言いいたくなるのを、ちょっとこらえて、子どもの思いや、考え方を聞いてやりましょう。最も信頼している大好きな親に、自分の考えを聞いてもらえることで、子どもの感性や創造力は豊かに伸びていくものですから。

「う」ちこそたのしく

例えば、子どもが家庭で手伝う仕事を決めてはいかががでしょう。たとえば、楽しい食事の時に、「お茶碗を運ぶ」「はしを並べる」こんな小さなことでも「たすかるよ」などとほめられると嬉しくなります。こうして子どもは、みんなのために働く喜びを味わいます。

「え」がおで

笑顔は周囲の人々のところをやさしく、温かいものにします。まわりの人の気持ちを受け入れるやさしい心を育てます。これがしつけの出発点です。みんながにこにこしていれば大きな声を出して子どもを叱る必要もなくなります。

「お」こるよりほめる

「ぼくはやればできるんだ」という自信がなければ、やる気は出てきません。自信をつけるためには、達成感をたくさん味わうことが必要です。「バツよりもマルをかぞえる」そうすれば、子どもは「この次はもっとがんばろう」と自然に思うよう

になります。

—子どもを育てる すてきなおかあさん さすがお父さん—より抜粋

「小山市ことばを育む親の会」について

これは、小山市内7校のことばの教室に通級している児童・幼児の保護者の方々、小山市内2校のそよかぜ教室に通級している児童の保護者の方々、および、ことばの教室・そよかぜ教室を卒業された児童・幼児の保護者の方々(賛助会員)により構成されている会です。同じような子育ての悩みをもつ保護者同士が集まり、いろいろな情報交換を行い、よりよい子育てのヒントが得られる場となっています。

6月12日(木)には、小山第一小学校で小山市ことばを育む親の会総会講演会をひかえています。壬生町のあかりクリニック副院長北原あかり先生に、「子どもの心の育ち～思春期を迎えるまでに気を付けること～」という演題で講演をしていただく予定です。

他にも1年を通して研修会や交流会が予定されていますので、案内が届きましたら、是非、ご参加ください。

「小山市ことばを育む親の会」 会費納入について

年会費は1200円です。お渡しした封筒にて、5月16日(金)までに、担任までご提出ください。

会費で指導に必要なノートや教材、子どもたちが楽しく訓練できるよう、知育玩具などを購入しています。また、講演会等の補助にも使われています。御理解いただき、納入をよろしくお願いいたします。

※原則として、通級と同時に全員が加入しています。